

松くい虫被害の松を伐採します ～奥州街道の名残を現在に留める 国道4号のアカマツの伐採について～

現在、内陸部の松くい虫の被害区域は盛岡市にまで拡大しており、紫波町二日町の国道4号に自生しているアカマツ(高さ約18m)も、樹木全体に渡って枝葉の枯れが見受けられるようになりました。

そのため、今年5月に検査を実施したところ、マツノザイセンチュウが検出されたことから、強風による枝の落下や倒木など、国道の通行車両への被害を防止するため、アカマツの伐採を行います。

なお、過年度においても同様の理由により伐採を行っており、同所に残る最後の「奥州街道名残の松」の伐採となります。

奥州街道（御幸新道^{みゆきしんどう}）の風景の一部を彩ったであろうアカマツは、地元の方々に親しみを持たれており、紫波町では伐採木の活用方法を検討しています。

- ① 作業日時 : 平成26年6月2日(月)
9時00分頃から16時00分頃まで
(※作業日時は、当日の天候及び作業の進捗状況により変更となる場合があります)
- ② 場所 : 紫波郡紫波町二日町 地内
一般国道4号 本誓寺交差点付近
- ③ 交通規制方法
上下線の追越し車線側を規制して、高所作業車、ラフタークレーン等を使用し伐採作業を行います。(交通規制範囲約100m)

〈発表記者会：岩手県政記者クラブ〉

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 盛岡国道維持出張所
岩手県盛岡市津志田町一丁目5-15
出張所長 松村 秀男
TEL 019-636-0018 (直通)

位置図



現在のアカマツの状況
(枝葉全体が枯れ、茶褐色となっている。)